

メールアドレス情報の流出について

令和3年10月29日
TIA 事務局長 青柳昌宏

昨日開催された TIA シンポジウムに先だちまして、オンラインイベントの参加登録者宛にメールを送信した際、登録者のメールアドレスが流出したことが判明しました。関係者の方々にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

1. メールアドレスの流出の内容

令和3年10月26日（火）午後3時18分、オンラインイベント「第13回 TIA シンポジウム」および「先端半導体製造技術つくば拠点オープニングシンポジウム」の参加者に視聴 URL を記載したメールを送信しました。その際、宛先を BCC で設定すべきところを誤って受信者に設定し、全員のメールアドレス（412件）が分かる形で送信しました。

2. 対応状況

送信後、受信者からの連絡を受け、初めて誤りに気づき、担当者から該当する関係者に対し、ご報告とお詫びを申し上げるとともに、電子メールの削除をお願いしました。今後、引き続き電子メールの削除状況を確認してまいります。

3. 今後の対応

今後このような事態が生じないよう、メールアドレス利用の際の注意喚起を徹底する等、再発防止を図り、厳重かつ適正な情報管理に取り組んでいきます。